

# 關西保育界の視察

城東幼稚園長 山邊知之

私は先月(二月)の二十四日東京を發ちまして岡山、大阪等の保育狀況を視察して、今月の三日歸京いたしました。今その視察談を致さうとするのでありますが、私の視察して參りましたのは主もに設備に關する點でありまして、一般に亘つてお

話すべき材料は極めて貧弱なのであります。しかし兎に角旅行の日程様のもでもお話すれば氣が濟みますので、自分の見聞して來た事實を諸君の前に開陳してみやうと存じます。尤もその前にのことわりして置かなければならないことは、私が幼稚園界に身を任ねてから未だ日が實に淺いのでありまして、すべての見聞が日々皆私にはめぐらしく興味深く感ぜられるのであります。それ故先輩の皆様がお聞きになつたら、ナニそんな話は

もう疾うの昔に聞いてゐるといふやうな感じをいだかれるやうな場合も、大きにあることであらうと存じます。しかし、そのところはお聞き流しを願ふとして、御存知ない芋の煮えた味をこれから一つ吹聴することに致します。

岡山へ着いたのは二十五日の午前でありました。先づ旅館に行つて、食事をした、め、それから直ぐ様、女子師範學校へ參りました。私は東京を發つ時、阪本幼稚園の和田さんから添書を貰つてゆきましたので、女子師範へ着いて岡先生にお目にかゝつた時、私はその添書を差し出しました。それで私は岡先生から御懇篤な御教示を仰ぐことが出来ました。

岡山の女子師範の附屬幼稚園の園舎は古い建物

で太して立派なものではありませんが、東京から行つて羨しいのは遊園の廣いことであります。遊園に飼育され、栽培せられて居る動植物の生々とした様子であります。おまけに此園では附屬小学校の運動場をまで使用することが許されて居りますので、幼児はこの廣い遊び場所に點々と見受けられるのであります。この點は金魚屋の盥に泳いでゐる金魚のやうに狭い遊園に喘いでゐる東京市内の各園の幼児のことを思ふと、實に羨しいかぎりであります。こゝの園では保育といつても、室内で手技等に費す時間は極めて尠く、主として遊園で遊ばせるやうにして居られるやうであります。しかし午後になると一回保育室に入れ、幼児各自に好むところの玩具を持たせ任意に遊ばせるのであります。これは以前は午前に保育室に入れ、午後には遊園で遊ばせるやうにして居られたさうであります。先年倉橋先生がおいでになつて、現行のやうに改めた方がよくはないかといふお話があ

りましたので、その時以來、今行つてゐるやうにすることにしたといふ、お話でありました。幼児の全數は七十四名で三組に分れて居りました。これが三つの保育室ともう一つの遊戯室に入れられるのであります。幼児は是等の室内で靜かに、まじめに遊んで居りました。二組三組いろは歌留多をして遊んでゐる幼児達もありました。又遊戯室の隅で輪を並べ、その上へ達摩さんをのせて打つ遊戯をして居る一群れもあります。こゝの幼児達は極めて穩かであります。達摩様の遊びなどに於ても、東京の幼児なら俺が先き、われが先きで、直きに奪ひ合ひが始まるころですが、こゝの幼児は誰にも何とも言はれない先きに、チャンケンで順番を決めて争ふといふやうなことは致しません。私の園などではお恥しい話ですが、斯ういふ場合には何時も保姆が間へ入つて調停の勞を取らなければならぬことを思ひ合せると、こゝの園の保育法に何處か違つたエライところがあるに違

ひないといふことを思はずにはぬられなかつたのであります、岡先生のお話に依りますと、この園では、一定の室を一定の兒童の専用室としない方針を取つて居られるさうであります、つまり子供本位に室を定めず、仕事の性質によつて室を定めるといふのであります、手技には手技に便利な室がありませう、唱歌には唱歌に便利な室がありませう、この便利を利用しないことは確かに不經濟に違ひありません。東京にも斯ういふことを實行して居る園があるかも知れませんが、私は至極賛成であります。それからこの園には子供にふさはしい小さいテーブル——大人の用ゐるテーブルの三分の一位の大きさで自由に子供が持ち運びの出来るテーブルがありました、矢張私の心を惹いたことの一つであります。

岡山の女子師範に就てのお話は以上に止めて置きます。

さてその日(廿五日)はそれで過ぎて、翌二十六

日は岡山市内の幼稚園を視察いたしました。先づ私は和田先生、土川先生からいたゞいて居る紹介状を以て、岡山で有名な彼の折井先生にお目にかゝることに致しました。

一體岡山には市立の小學校が五つあります、而して、この五つの小學校にはそれ／＼皆附屬の幼稚園があります。私はこの五つの園の中の旭東幼稚園といふのへ一番始めに行つてみました。而して朝の會集を見せでいたゞきました。整容のため幼児は先づ保育室に集ります。保姆一人々々幼兒を點檢いたします。これが終ると一同遊戯室に集ります。こゝで一寸説明しなければならぬのはこゝの園の構造であります。遊戯室は八角形であります。そしてこの八角形の八つの邊の一つ置きに保育室があります。室と室との間の邊には室外へ通ずる扉があります。さて、お話は前へ戻りまして、幼兒達は整容が済むと直ぐに各自腰掛を持つて四つの保育室から、真中の遊戯室へぞろぞ

ろと出て來ます。遊戯室の眞中に太い柱が一本あり、りますので、それを中心にして、幼児は半圓を作つて三重に並びます。幼児は腰掛に腰を落しておとなしくして居ります。主任保母は幼児の一人一人を見てまわつて、「お顔をおあげなさい」とか「お鼻汁をおかみなさい」とか言はれます、それから丁度私が居りましたので、私を幼児一同にお引き合せ下さいました。さて、それから一同で唱歌をうたつて、會集は終りました。幼児は又各自に腰掛を持つて、それ／＼各保育室へ引取りました。

こゝの園ではそれから遊戯を見せていたゞきました。土川先生の律動的遊戯をやつてゐましたが、幼児は皆大よろこびで、熱心にやつて居りました。旭東幼稚園はこれだけにして、次ぎは清輝幼稚園へ行つてみました、これも五つの園の一つでありまして、建築法は旭東と全然同じであります、たゞ遊戯室の眞中にある太い柱が、この園にはありませんでしたので、一層便利な建築であります。

こゝでは描き方を拜見しました。幼児は男兒と女兒とに依り左と右との二列に分けられます、而して男兒も女兒も机を挟んで、互ひに向ひ合ひになつて畫を描きます。土地柄で色鉛筆などはあまり豊かには備へてないと見え、一箱の色鉛筆を幼児二三人で共用して居りました、それが些の争ひなしに幼児同志互ひに譲り合つて用ゐるのでありますから、實に感心させられるのであります。

私が幼児の描き方を見て歩きますと、一人後の隅の方にゐた幼児は山を描き、家を描いて居りましたが、やがて畫面全體を代赭色の鉛筆で塗抹し始めました。それで私が「何故塗るのですか」と聞きますと、その幼児は「これは雨の降つてゐるところです」と答へました。私は成程こゝが肝腎なところだと其時思ひました。こゝが保母の注意してよく見てゐてやらなければならぬ点であると私はその時つくづく思ひました。私の園で、或る時、幼児には、とりを描かせたことがあります。

すると或る幼児の描いたには、とりの畫には背中へ

もつて行つて足がついて居ります。私はこの畫を見まして、係りの保母に「この畫は何うしたのでせうか」と訊きますと、保母は「まちがつたのでせう」と答へました、私はこの保母が幼児から畫を集める時、斯る畫を見たならば何故幼児に「これは何うしたのでですか」と尋ねる勞を取らなかつたかと思ひます。いくら幼児の記憶心像が不確かであるとはいへ、にはとりの足が背中から生えてゐるとは決して思つてはゐまいと思ひます。この時その幼児は保母の問ひに答へて「先生、これはにはとりがころんだのであります」と得意になつて言つたかも知れないのです。幼児の不備な表現に對して保育者は常に想像力を働かせて之を補ひながら見てやらなければなるまいと思ひます。

清輝もこれだけとして、次ぎは出石幼稚園へ行つてみました。この時は、もう少し時間がおそくありましたので、幼児は皆歸宅して園には居りま

せんでした。

さて岡山の幼稚園の設備に就て少しく申述べてみます。折井先生は岡山全市の幼稚園の園長をして居られますので、各園にそれ／＼特長あらしめ互ひにその特長を利用し合ふやうにして居られます。例へば清輝に行つてみますと植物の栽培がよく行き届いてゐて、花卉が多く小植物園の觀があります、而して出石に行きますと、清輝とは全然行き方を異にしてこちらは小動物園の觀があります。すなはち猿、鳩、兎、鶏等の動物を澤山飼養して居るのであります。殊に鳩が十數羽も群つてゐたのを見たときは羨しく思ひました。

東西一里に足らぬ狭い市のことでありますから甲の園の幼児を乙の園へ連れてゆき、乙の園の幼児を丙の園へ連れて行くといふやうなことは極めて容易に行はれます。それ故經費の都合から言つて、各園が同じやうな趣向の下にお金をかけるといふよりも、夫々ちがつた計畫をして、これを互

ひに融通し合ふ方がよろしいのであります。

私が岡山でひどく感じたことは次のことでもあります。一體岡山は一度保育の上に於て悲境に陥つたことがあります。然るに今日ではその悲境を通り抜けて、極めて盛運に際會して居ります。今日では幼稚園に於ける幼児の數も増加して居りますので、大正六年四月に小學校に入學した千五百十七人の兒童の内七百三十七人は保育滿了兒童であつたといふことであります。すなはち全就學兒童の半分約五十パーセントは幼稚園を通過して來て居るのであります。翻つて我が東京市は如何と申しまするに、別に表を調べてはみませんが就學兒童の約半數が保育滿了兒童などといふ岡山の盛況に較べると實にあはれなものであります。岡山市では最近に又幼稚園を増す計畫ださうで、大阪あたりへ切りに建築方法を研究に行くといふことを大阪の人から聞きました。

以上のやうな有様で岡山の保育界は實に優勢で

あります。これは岡山の幼稚園の經營、設備のよろしきによることは無論でありませうが、是等の經營の背後に隠れ、すべての設備を統轄して居られる折井先生その人の人格の力も亦與つて大いなる力があるといふことを看取しなければなるまいと存じます。(未完)(文責在記者)

有明やひかりおさまる桃の花	北
出代やおさなこゝろに物あわれ	嵐
花もおし娘かたづく春のくれ	過
はる雨や鶯這入る石燈籠	松
暮淋し花の後の鬼かはら	友
	五
	風
	雪
	雪
	枝